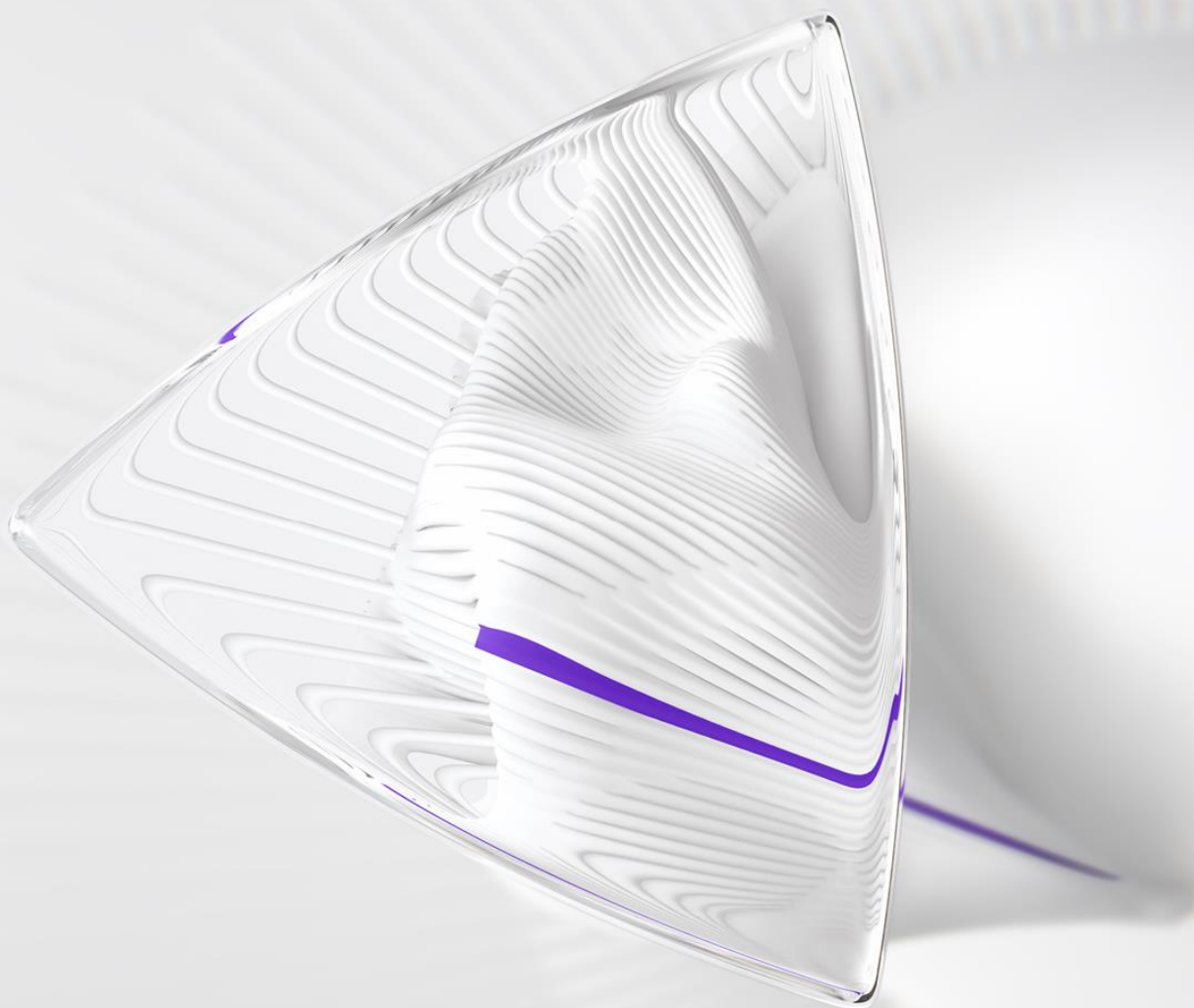


ScholarOne Manuscripts リリースノート

2022 年第 1 四半期リリース



概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。新機能の中には、管理者または ScholarOne の担当者が有効にしなければ使用できない機能もあります。許可や構成に関するご質問は、発行者チームまたは ScholarOne にお問い合わせください。

ワークフローの変更は影響するすべてのユーザーに伝えてください。

本リリースに記載された事項についてご不明な点がございましたら、ScholarOne 製品サポート (s1help@clarivate.com) までお問い合わせください。

内容

1. Google Analytics および Google Tag Manager のサポート
2. ScholarOne リンクと更新
3. カスタム論文フラグ
4. オンザフライ査読者設計変更
5. API: 新しい `getAttributeList (v1)`
6. API: 新しい `getEditorList (v1)`
7. API: 新しい `getChecklistByName/getChecklistByID (v1)`
8. API: 更新済み `getIDsByDate (v4)`
9. API: 更新済み `getPersonInfoFull (v4)`
10. API 更新: `getReviewerInfo`
11. 通知: チェックリスト、追加フィールド、およびカスタム質問の新しい通知領域
12. 通知: 追加済み `taskStatusName`
13. パフォーマンス更新: RightsLink 統合
14. 異常アクティビティ検出設定レポート
15. セキュリティ更新
16. 問題と注目すべき修正点

2022 年第 1 四半期リリース更新

1. Google Analytics

ScholarOne を使用することで、マーケティングイニシアチブでお客をサポートするため、ユーザーが Google Analytics を使用して ScholarOne プラットフォームと対話する状況に関するデータを収集できるようになりました。Universal Analytics と Google Analytics 4 プロパティでは、それぞれ、UA と GA4D ID の両方がサポートされます。

Google Analytics、および提供されているさまざまなデータモデルの詳細については、Google Analytics サポートページを参照してください。UA プロパティと GA4D プロパティの違いの詳細については、[こちら](#)を参照してください。

ユーザー

管理者

必要なアクション

必要なアクション構成が必要です。ScholarOne の担当者までお問い合わせください。

Thursday, September 30, 2021

Primary Dimension: Page Page Title Other

Filter Rows Secondary dimension Sort Type Default

Q advanced

Page	Pageviews	Unique Pageviews	Avg. Time on Page	Entrances	Bounce Rate	% Exit	Page Value
	21 % of Total: 100.00% (21)	13 % of Total: 100.00% (13)	00:00:47 Avg for View: 00:00:47 (0.00%)	1 % of Total: 100.00% (1)	0.00% Avg for View: 0.00% (0.00%)	4.76% Avg for View: 4.76% (0.00%)	\$0.00 % of Total: 0.00%
☐ 1. /wbtest/AUTHOR_TYPE	3 (14.29%)	1 (7.69%)	00:00:13	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 2. /wbtest/CONFIG_PARAMETERS	3 (14.29%)	1 (7.69%)	00:01:58	1 (100.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 3. /wbtest/AUTHOR_SUBMIT	2 (9.52%)	1 (7.69%)	00:00:09	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 4. /wbtest/HOME	2 (9.52%)	1 (7.69%)	00:00:06	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 5. /wbtest/LOGIN	2 (9.52%)	1 (7.69%)	00:00:30	0 (0.00%)	0.00%	50.00%	\$0.00
☐ 6. /wbtest/UPLOAD_PROGRESS_POPUP	2 (9.52%)	1 (7.69%)	00:00:12	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 7. /wbtest/AUTHOR_DETAILS	1 (4.76%)	1 (7.69%)	00:00:32	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 8. /wbtest/AUTHOR_FILE_UPLOAD	1 (4.76%)	1 (7.69%)	00:00:34	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 9. /wbtest/AUTHOR_SUBMIT_CONFIRM	1 (4.76%)	1 (7.69%)	00:06:12	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 10. /wbtest/AUTHOR_VIEW_MANUSCRIPTS	1 (4.76%)	1 (7.69%)	00:00:10	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 11. /wbtest/DEVELOPER_DASHBOARD	1 (4.76%)	1 (7.69%)	00:00:04	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 12. /wbtest/PROOF_POPUP	1 (4.76%)	1 (7.69%)	00:00:00	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00
☐ 13. /wbtest/SUBMITTED_MANUSCRIPTS	1 (4.76%)	1 (7.69%)	00:00:04	0 (0.00%)	0.00%	0.00%	\$0.00

Show rows 25 Go to 1 1 - 13 of 13

Google Tag Manager のサポート

また、ScholarOne は Google Tag Manager を使用することで、発行者と雑誌がそれぞれのユーザーとプラットフォームとのやり取りに関するデータを収集できるようになります。

Google Tag Manager はタグ管理システム（TMS）で、これを使用することでユーザーは測定コードや関連コードを Web サイトやモバイルアプリのタグと同じようにすばやく簡単に更新できます。Tag Manager コードの小さなセグメントをプロジェクトに追加すると、解析タグと測定タグの設定を GTM Web ベースのユーザーインターフェースから安全かつ簡単に展開できます。

ユーザー

管理者

必要なアクション

必要なアクション構成が必要です。ScholarOne の担当者までお問い合わせください。

詳細と設定

Google Analytics と Google Tag Manager は、別々のプラットフォームと併用することを目的としています。Google Analytics に情報をフィードするためのコードプロパティは、Google Tag Manager を計画的に使用せずに設定できますが、GTM を使用することで最終的にはエンドユーザーにとってタグ管理が容易になります。

2. ScholarOne リンクと更新

新しい ScholarOne リンクと更新は、ScholarOne システムの使用に関する質問に対する回答をすばやく見つけるために役立つ標準的なヘルプ記事、FAQ をアプリ内でサポートすることを目的としています。また、リンクと更新は ScholarOne の使い方を学習するためのアプリケーション内ガイド、製品アップデート、お知らせも提供します。

ユーザー

管理者	編集者	著者	査読者
-----	-----	----	-----

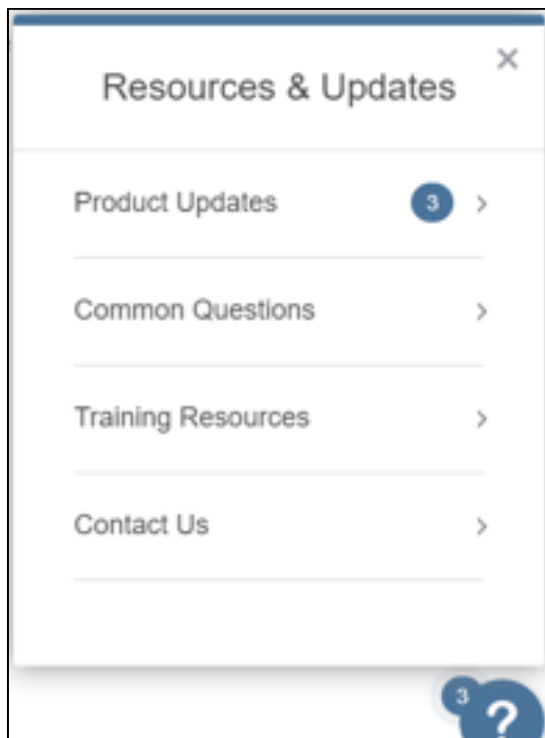
必要なアクション。
デフォルトで使用可能です。設定は不要です。

詳細と設定

ScholarOne リンクと更新は S1M ページの右下隅にあります。

リンクと更新には次のセクションがあります。

- 製品アップデート
- よくある質問と FAQ
- トレーニングリソース
- お問い合わせ



3. カスタム論文フラグ

ポータルサイトレベルまたは個々のサイトレベルで管理および保守できるカスタムフラグを作成する機能が追加されました。

ユーザー

管理者

編集者

必要なアクション

必要なアクション構成が必要です。ScholarOne の担当者までお問い合わせください。

- 論文詳細ページの論文またはアカウントにフラグを付けるの下に新しいセクションが追加されました。
- 通常のフラグと同じように機能します。
- 個々の雑誌に継承されるポータルで設定および管理できます（デフォルト）。
 - 子サイトが独自のカスタムフラグを追加できるようにするためのチェックボックス。
- アイコンはアップロード時に 12x12 ピクセルにサイズ変更されます。
- jpg、gif、または png ファイルタイプのみがサポート対象です。

- フラグを作成するには、フラグ名が必須です。

Custom Manuscript Flags				
Active	Flag Icon	Flag Name	Edit	Remove
✓	🔥	Hot Topic	Edit	Delete
✓	😄	Entertaining	Edit	Delete

Add New Flag

Flag Icon: No file chosen
Flag Name:

Select roles allowed to add/remove flags:

☐ null
☐ Allow Child sites to add Flags

☒ Save

次のように、論文のフラグテーブルそれぞれの独自のセクションに表示されます。

Flag This Manuscript

☐ Leave this manuscript unflagged

☐
☐
☐
☐
☐ Authorship list change
☐ TDA with Reports
☐
☐
☐
☐
☐
☐ Engineering Education Special Issue
☐
☐
☐
☐
☐ TDA without Reports
☐
☐
☐
☐
☐ COVID-19

Custom Flags

☐ Hot Topic
☐ Entertaining

☒ Save

4. オンザフライ査読者設計変更

重複するアカウントの作成を減らし、新しい査読者を従来より直感的に追加するために、査読者を追加するプロセスを設計変更しました。

ユーザー

管理者

編集者

なし。設定のカスタマイズにはクライアント/完全な構成の許可が必要です。
または ScholarOne サポートにお問い合わせください。

現在の査読者アカウントの作成ウィンドウ:



査読者情報を追加ボタンに置き換えられます:



新しい入力フィールドなど、新しいポップアップウィンドウが表示されます。このフィールドは設定可能ですが、少なくとも次の3つのフィールドが必須です。

- 名
- 姓
- E-Mail

作成 アカウント

必須 名:

必須 姓:

必須 E-Mail アドレス:

必須 カテゴリ:

選択...

ウィンドウを閉じる

作成して追加

デフォルトで必要なフィールドは、論文詳細ステップに以下のように表示されます。

査読者アカウントの作成

アカウント作成中に必要なフィールド:

必須 有効

必須 有効

✓ 名

✓ 姓

✓ E-Mailアドレス1

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

機関

部署名

所属

国/都道府県

市区郡

郵便番号

☐

☐

☐

☐

☐

☐

電話番号

ファックス

敬称

ミドルネーム

学位

タイトル

保存

著者の希望する/希望しないリストでは名前の横にない査読者には査読者を追加するためのチェックボックスが表示されなくなります。これで、クリックするとポップアップが表示されるボタンが表示されます。

著者が希望する/しない査読者					
名前、キーワード、所属機関、E-Mail、役割、理由	現在 / 過去 12 か月	最終査読からの経過日数	平均 R スコア	追加	
John, Smith 希望する CCC jsimth@no-reply.com	0 / 0	0	0		
Bill, Wagner 希望する CCC bwagner@no-reply.com	0 / 0	0	0		
Chen, Lei 希望する Keyword 1, Keyword 2, Keyword 3 CCC chenlei@thomsonreuters.com ロール: 著者 査読者 副編集者 表示センター 編集長 管理者 発行編集者 構成	0 / 0	論文がブラインドされています	論文がブラインドされています	☐	

このポップアップには、重複している可能性のあるアカウントが見つかった場合に表示されます。

レコードによると、この名と姓の人のアカウントがすでに存在します。適合する可能性が最も高いものは以下のとおりです。

名前、キーワード、所属機関、E-Mail、役割	現在 / 過去 12 か月	最終 査読 からの 経過 日数	平均 R スコア	追加
John, Smith.	Keyword 1 CCC	0 / 0	0	追加
john.smith@gmail.com	ルール: 著者 査読者			

重複の可能性がない場合。ユーザーは、査読者を作成して追加するだけです。

作成 アカウント

必須 名: Wagner

必須 姓: Bill

必須 E-Mail アドレス: bwagner@gmail.com

所属機関名: CCC

部署名:

電話番号:

☐ ウィンドウを閉じる ☒ 作成して追加

5. API: 新しい getAttributeList (v1)

単一サイトのすべての設定済み属性を取得するための新しい API。

ユーザー

開発者

必要なアクション。

これらの通知を受信するには、ScholarOne Web Services クライアントである必要があります。サポートに連絡して、自分のアカウントの通知を有効にして設定してもらいます。

備考

ScholarOne では、API の拡張機能を定期的に導入して、ユーザー体験が常に向上するようにしています。これらの機能強化の大半は、エンドユーザーによる設定を必要としません。これらの機能強化は、社内チーム、開発者がプロセスを最適化するために実行します。ただし、これらの変更点についてご質問がある場合は、サポートにお問い合わせください。

詳細と設定

呼び出しの例:

https://mc-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v1/configuration/full/attributelist?&site_name=salesdemoplus

- **site_name:** ポータルではなく、単一サイトのみにすることができます
- 各属性要素の有効/無効ステータスが組み込まれます
- 属性タイプ（文書、人、ファイル（指定））が組み込まれます
- 事前に入力されたリストのみが組み込まれます（フリーテキスト入力はありません）。
- **属性の種別名:** 設定に従って

キーワード等の種別名	数	キーワード等の表示/編集	キーワード等の種別の編集	削除
Keywords	1159			
Specialties	84			
File Designation	8			

- **数:** 属性の種別にリンクされた属性の合計数

出力の例:

```
<attributelist>
  <attributetype>
    <associatedTypes>
      <associatedType>FILE</associatedType>
    </associatedTypes>
    <attributes>
      <attribute>
        <attributeName>Figure</attributeName>
        <id>17929277</id>
        <status>active</status>
      </attribute>
      <attribute>
        <attributeName>Image</attributeName>
        <id>17929278</id>
        <status>active</status>
      </attribute>
      <attribute>
        <attributeName>Main Document</attributeName>
        <id>17929279</id>
        <status>active</status>
      </attribute>
      <attribute>
        <attributeName>Supplementary File</attributeName>
        <id>17929280</id>
        <status>active</status>
      </attribute>
      <attribute>
        <attributeName>Table</attributeName>
        <id>17929281</id>
        <status>active</status>
      </attribute>
    </attributes>
    <count>5</count>
  </attributetype>
</attributelist>
```

6. API: 新しい getEditorList (v1)

単一サイトで利用可能なすべての編集者を取得するための新しい API。

ユーザー

開発者

必要なアクション

既存の ScholarOne Web Services クライアントの場合、設定は不要です。ScholarOne Web Services クライアントではなく、この API の使用方法について詳しく知りたい場合は、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

詳細と設定

呼び出しの例:

https://mc-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v1/configuration/full/editorList?&site_name=salesdemoplus&role_type='Editor'

- 最大 1,000 件の結果
- 返される結果が多すぎる場合のエラー
- 所属 1 機関のみを組み込みます
- スタッフラグのあるユーザーを無視します
- アクティブでないユーザーを無視します
- 期限切れ編集者/EIC ロールのあるユーザーを無視します

オプションパラメーター:

- &role_type
- &role_name

出力の例:

```

<editorList>
  <editor>
    <email>jane.doe@gmail.com</email>
    <firstName>Jane</firstName>
    <institution>
      <institutionName>Clarivate</institutionName>
    </institution>
    <lastName>Doe</lastName>
    <personId>10351992</personId>
    <roleName>Editor</roleName>
    <roleType>EDITOR</roleType>
  </editor>
  <editor>
    <email>John.doe@gmail.com</email>
    <firstName>John</firstName>
    <institution>
      <institutionName>Clarivate</institutionName>
    </institution>
    <lastName>Doe</lastName>
    <personId>10351994</personId>
    <roleName>Editor-in-Chief</roleName>
    <roleType>EDITOR_IN_CHIEF</roleType>
  </editor>
</editorList>

```

7. API: 新しい getChecklistByName/getChecklistByID (v1)

単一サイトのすべての設定済みチェックリストを取得するための新しい API。

ユーザー

開発者

必要なアクション

この API を利用するには、ScholarOne Web Services クライアントであるとともに、V4 にアップグレードする必要があります。この API の使用方法の詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

詳細と設定

呼び出しの例:

CheckListByName:

https://mc-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v1/submissions/full/checklistsByName/documentids?_type=xml&site_name=salesdemoplus&ids='12345'

CheckListByID:

https://mc-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v1/submissions/full/checklistsByID/documentids?_type=xml&site_name=salesdemoplus&ids='12345'

- documentID と submissionID の両方がサポート対象です
- name パラメーターを使用する場合は checklistByName、ID パラメーターを使用する場合は checklistById を区別するために呼び出しを分離します。
- チェックリストと追加フィールドの両方ともサポート対象です。
- チェックリスト質問では、<checkLists> 要素を使用します
- 追加フィールド質問では、<additionalFields> 要素を使用します
- ラベルの回答の種別は組み込まれません

オプションパラメーター:

1. &task_name
2. &detail_name
3. &question_name
4. &task_id
5. &detail_id
6. &question_id

出力の例:

```
<document>
  <documentID>12345</documentID>
  <documentIDOriginal>12345</documentIDOriginal>
  <documentIDatest>12345</documentIDatest>
  <submissionID>salesdemoplus-3123</submissionID>
  <submissionIDOriginal>salesdemoplus-3123</submissionIDOriginal>
  <submissionIDatest>salesdemoplus-3123</submissionIDatest>
  <transferSubId>ada1f44-c57a-4127-92ab-c97d53fbd4588</transferSubId>
  <submissionStatus>
    <decisionName>Accept</decisionName>
    <documentStatusID>B</documentStatusID>
    <documentStatusName>Accepted</documentStatusName>
    <indraftFlag>false</indraftFlag>
  </submissionStatus>
  <checklists>
    <checklist taskName="Admin Checklist" detailName="Editorial Office Checklist" documentTaskId="123456">
      <questions>
        <question>
          <questionName>Please respond to EO Questions</questionName>
          <questionStatus>ACTIVE</questionStatus>
          <answerType>Checkbox</answerType>
          <questionText>Please respond to Editorial Office Questions, which appear beneath the Author-Supplied Data</questionText>
          <answer>
            <answerName>Admin Checklist response</answerName>
            <answerText>Yes</answerText>
            <answerStatus>ACTIVE</answerStatus>
            <answerId>132666</answerId>
          </answer>
        </question>
        <question>
          <questionName>Ready for Peer Review</questionName>
          <questionStatus>ACTIVE</questionStatus>
          <answerType>Checkbox</answerType>
          <questionText>This manuscript is ready for peer-review.</questionText>
          <answerName>Ready Answer</answerName>
          <answerText>No</answerText>
          <answerStatus>ACTIVE</answerStatus>
          <answerId>132266</answerId>
        </question>
      </questions>
    </checklist>
  </checklists>
</document>
```

8. API: 更新済み getIDsByDate (v4)

委譲属性情報データに関する新しいフィールドに加えて、新しいオプションのパラメーターとフィルターが追加されました。

ユーザー

開発者

必要なアクション

この API を利用するには、ScholarOne Web Services クライアントであるとともに、V4 にアップグレードする必要があります。この API の使用方法の詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

詳細と設定

構成の詳細は以下のとおりです。

呼び出しの例:

https://mc-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v4/submissions/full/idsByDate?from_time=2019-01-05T16:00:00Z&to_time=2021-06-07T04:12:52Z&site_name=salesdemoplus&document_status=DOCUMENT_STATUS_SUBMITTED&criteria=datetime_submitted

- ポータルサイトが使用される場合 - ポータル内のすべてのサイトの ID を返します。
- 1000 を超える文書 ID が返された場合は、エラーが表示されます。

オプションパラメーター:

- デフォルトでは、datetime_added（作成日）が検索されます。
- オプションパラメーター -> &criteria=datetime_added（デフォルトと同じ）
- オプションパラメーター -> &criteria=datetime_submitted（投稿日）
- オプションパラメーター -> &criteria=datetime_transferred
(document_article_transfer -> transfer_date)
- オプションパラメーター -> &criteria=datetime_withdrawn (document -> datetime_withdrawn)
- オプションパラメーター -> &criteria=datetime_deleted (document -> date_time_deleted)
- オプションパラメーター -> &criteria=datetime_related_modified

オプションフィルター:

&document_status=

- DOCUMENT_STATUS_DRAFT
- DOCUMENT_STATUS_REVISION
- DOCUMENT_STATUS_SUBMITTED
- DOCUMENT_STATUS_RESUBMITTED
- DOCUMENT_STATUS_APPEAL
- DOCUMENT_STATUS_DECISIONED
- DOCUMENT_STATUS_WITHDRAWN
- DOCUMENT_STATUS_ACCEPTED
- DOCUMENT_STATUS_INVITED
- STATUS_TRANSFERRED_OUT
- STATUS_TRANSFERRED_IN

出力の例:

```
<submission>
  <datetimeCreated>2020-07-30 10:55:39.461</datetimeCreated>
  <documentId>38415958</documentId>
  <documentIdLatest>38415958</documentIdLatest>
  <documentIdOriginal>38415958</documentIdOriginal>
  <documentStatusName>Transferred In</documentStatusName>
  <previousDocumentId>6719616</previousDocumentId>
  <previousSiteName>salesdemo4</previousSiteName>
  <submissionId>draft</submissionId>
  <submissionIdLatest>draft</submissionIdLatest>
  <submissionIdOriginal>draft</submissionIdOriginal>
  <submittingAuthorId>139800367</submittingAuthorId>
  <transferStartedDatetime>2020-07-30 10:55:51.160663</transferStartedDatetime>
  <transferSubId>f9adf828-e29a-49b2-a47d-98c2da5f7d3d1</transferSubId>
  <transferredDatetime>2020-07-30 10:55:51.163</transferredDatetime>
</submission>
```

9. API: 更新済み getPersonInfoFull (v4)

出力にサイトの省略名を追加しました。これは、個々のサイトレベルまたはポータルレベルで使用できます。

ユーザー

開発者

必要なアクション

この API を利用するには、ScholarOne Web Services クライアントであるとともに、V4 にアップグレードする必要があります。この API の使用方法の詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

詳細と設定

呼び出しの例:

https://mc-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v4/person/full/email/search?primary_email=jane.doe@gmail.com&site_name=salesdemoplus


```
<personRoles>
  <roleId>2</roleId>
  <roleName>Editor</roleName>
  <roleType>EDITOR</roleType>
  <roleTypeId>0</roleTypeId>
  <siteShortName>salesdemoplus</siteShortName>
</personRoles>
```

10. API 更新: getReviewer Info

ファイルが査読者レポートに添付されているシナリオでは、「reviewerFiles」のサブフィールドとして「fileRecipient」を追加して、査読者レポートに添付されているファイルが「著者と編集者」または「編集者のみ」で開いているかどうかを確認できるようにします。

ユーザー

開発者

必要なアクション

この API を利用するには、ScholarOne Web Services クライアントであるとともに、V4 にアップグレードする必要があります。この API の使用方法の詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

11. 通知: チェックリスト、追加フィールド、およびカスタム質問の新しい通知領域変更

チェックリスト、追加フィールド、またはカスタム質問への変更を追跡する新しい通知領域。

ユーザー

管理者

開発者

必要なアクション

これらの通知を受信するには、ScholarOne Web Services クライアントである必要があります。詳細については、サポートにお問い合わせください。

詳細と設定

- カスタム質問、チェックリスト、および追加フィールド質問の変更を処理する新しい領域。

- このリストには、「AOM 通知登録リストに組み込む」がオンになっているカスタム質問のみが表示されます。
- 質問に対する変更が検出されると、通知がトリガーされます。
- 投稿カスタム質問の変更は、論文が投稿された後にのみトリガーされます。

12. 通知: 更新されたタスクのステータスの変更通知

タスクのステータスの変更通知には通知の `taskStatusName` が組み込まれます

ユーザー

管理者

開発者

必要なアクション

既存のすべての Web サービスクライアントに表示されます。Web サービスクライアントでない場合、詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

詳細と設定

これで、タスクの名前が `taskStatusName` としてペイロード通知に表示されます。

Add Notifications

Tasks:

Admin Checklist (Submitted Manuscript Workflow)
Admin Checklist (Resubmitted Manuscript Workflow)
EIC Assigns AE (Submitted Manuscript Workflow)
EIC Assigns AE (Resubmitted Manuscript Workflow)
EIC Assigns AE (Revised Manuscript Workflow)
Admin Select Author (<i>Invited</i> Manuscript Workflow)
AE Selects Reviewers (Submitted Manuscript Workflow)
AE Selects Reviewers (Resubmitted Manuscript Workflow)
AE Selects Reviewers (Revised Manuscript Workflow)

13. RightsLink（CCC）統合のパフォーマンス更新

回答時間の短縮、セキュリティの向上、および一般的なインフラストラクチャの改善を実現するために、Copyright Clearance Center（CCC）はすべての API を Amazon Web Service（AWS）API Gateway に移行しています。このリリースでは、ScholarOne はこの移行に対応するために CCC との統合を更新しました。

ユーザー

管理者	著者
-----	----

必要なアクション
デフォルトで使用可能です。

詳細と設定

- ScholarOne による CCC/Rightslink API および AWS API ゲートウェイへのアクセス向けの新しい ID とキーを使用して、統合が更新されました
- ScholarOne API コールは、CCC が提供する新しいエンドポイントセットを使用するように改訂されました

14. Cognos への UAD 設定レポート

雑誌や発行者が不正行為や倫理問題の処理を管理できるように、ScholarOne では新しい UAD 設定詳細レポートを提示します。このレポートでは、全雑誌を対象に、UAD のアクティブ化状況と UAD 記録イベントの感度設定（高、中、低レベル）が表示されます。

ユーザー

管理者

必要なアクション

デフォルトで使用可能です。

詳細と設定

UAD 設定詳細レポートは、ポータルレベルのスタンダードレポートで利用可能になる予定です。

 **Custom Reports**

[Disk Space Usage: ScholarOne Level](#)
[Disk Space Usage: Publisher Level](#)
[ScholarOne: Monthly Submissions Report](#)
[ScholarOne: Manuscript Data Annual Report](#)
[ScholarOne: Reviewer Data Annual Report](#)
[ScholarOne: Submission Statistics Report](#)
[Scholar One: SIM Feature Usage](#)
[ScholarOne: Author Submission Time](#)

 **Standard Reports**

[Submissions](#)
[Decisions](#)
[High Permissioned Users](#)
[Journal Summary](#)
[Reviews](#)
[Production Statistics](#)
[Invited Papers](#)
[Submissions Over Time](#)
[Transferred Manuscripts](#)
[Reviewer Locator](#)
[Reviewer Connect](#)
[UAD Configuration Report](#)

16.主な問題修正と機能の最適化

備考

ScholarOne では、リリースとリリースの間に数多くのパッチやホットフィックスを配布し、ユーザーにプラットフォームの継続的な改善を提供しています。これらの多くは、プロセスを最適化するために内部のチームが行っているもので、ワークフローには影響しません。これらの変更についてご質問がある場合は、サポートにお問い合わせください。

システムの問題

- 著者がデータ抽出用に設定されていないファイルタイプをアップロードしようとしました。エラーメッセージがリストに表示されません。
著者が制限されたファイルタイプをアップロードしようとした場合にエラーメッセージが表示されない、投稿のプレフィルに関する問題を解決しました。
- 発行チェックリストを完了できます。
発行チェックリストを完了できず、次のタスクに移動しようとしたときにエラーが返される問題を解決しました。
- 論文に関する操作後に更新さる、「投稿待ち転送論文の論文数」と、「転送論文の著者承認待ちの論文数」。
論文がキューから移動した後、「投稿待ち転送論文の論文数」キューおよび「転送論文の著者承認待ちの論文数」キューの論文数が正しく更新されない問題を解決しました。

システムパフォーマンス

- ユーザー詳細検索の実行時に発生しないタイムアウトゲートウェイ。
査読者の検索にユーザー詳細検索を最適化して、定期的なページタイムアウトを防止する。
- 査読履歴から E-Mail を開く。
査読履歴から E-Mail を開くときに、ユーザーの読み込みに時間が掛かる問題を解決しました。

ORCID

- ログインページを返す ORCID の設定。
ORCID メンバー資格情報でユーザーがログインページに返される問題を解決しました。
- ORCID は査読者アカウントと接続します。
査読者が自分のアカウントを自分の ORCID プロファイルに関連付けられない問題を解決しました。

RightsLink 統合

- Rightslink エラー「見積もりができません。ページの一番上に表示された投稿エラーを修正してください」が確認・投稿ページに表示されません。
エラーメッセージ（「見積もりができません。このページの上部に記載されている投稿エラーを修正してください。」）論文タイプの変更に、「査読と投稿」投稿ページの著者に表示されます。
- 著者向けの Rightslink タスクが正しく実行されます。
Rightslink タスクの投稿中に著者に影響する問題を修正しました。

クラリベイトについて

Clarivate™は、イノベーションを加速する信頼性の高い知見や分析を提供する、世界的リーディングカンパニーです。当社の使命は、新しいアイデアから人生を変えるような発明を生む時間を短縮するための、実用的な情報とインサイトを提供することにより、お客様が抱える難題を解決できるよう支援をすることです。サイエンスや知的財産の分野において、基盤となる研究やアイデアから保護、そして商業化に至るまで、イノベーションのライフサイクル全体をカバーする深い専門知識を備えたサブスクリプションおよびテクノロジーベースのソリューションを提供しています。詳細については、clarivate.com/ja をご覧ください。

お問合せ:

+1 215 386 0100 (米国)

+44 (0) 20 7433 4000 (ヨーロッパ)

clarivate.com/ja

© 2022 Clarivate とそのロゴ、およびここで使用されている他のすべての商標は、それぞれの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。